

非行防止に尽力

荒関正男氏が少年補導荣誉銅賞受賞

少年補導協力員の荒関正男氏(派立中)が、7月23日(木)役場を訪問し、小野町長に全国少年警察ボランティア協会より少年補導荣誉銅賞を受賞したことを報告しました。荒関氏は昭和63年から少年補導協力員として活動し、長年の地域貢献が評価されました。

表彰を受けて荒関氏は「これまでも賞をもらってきたが、全国は初めて。これを励みに、70歳の定年まで少年の非行防止を呼びかけ、様々な活動に邁進していきます」と抱負を述べました。町長からは「今後ともこれまで同様に少年補導協力員として非行防止を続けていただきたい」と話していました。



東北大会優勝、全国大会へ

中里中・野上さんが町長を訪問

中里中学校の野上莉来奈さん(薄市上)が8月7日(金)に小野町長を訪問し、東北中学校柔道大会優勝と全国大会出場の報告をしました。

それを受けて、町長は「とても素晴らしい結果だ。この調子で全国大会もがんばってほしい」と激励しました。野上さんは「全国大会はより厳しい試合が待っていると思う。気合いを入れてがんばりたい」と意気込みを伝えました。

中泊町での生活が楽しみ

新ALTのマイケル先生が町長を訪問

中里地域の新しいALT(外国語指導助手)に就任したマイケル・スミス先生が、7月29日(水)小野町長を訪問しました。小野町長は、「よく中泊町に来てくれました。当町のマイケルとも仲良くして欲しい。中里地域の子どもたちをよろしくお願いします」と話しました。

マイケル先生は、アメリカ合衆国・カリフォルニア州のサンディエゴ出身で「中泊町は故郷と雰囲気似ていて好きになりました。早く子どもたちに会いたい」と話していました。



10年連続砲丸投げ1位!

川浪晋司氏が町長を訪問

市町村対抗青森県民体育大会陸上競技で10年連続第1位となり、同大会から表彰状を授与された川浪晋司氏(薄市上)が8月13日(木)、小野町長を訪問し報告しました。

町長は「1位をとることはもちろんだが、それを10年も続けたことが素晴らしい」と話しました。

川浪さんは「これからも1位を取って記録を伸ばしていけるようがんばりたい」と抱負を述べていました。

イメージキャラクターと一緒にダンス

絆でつながる家庭教育支援セミナー

米ケルたちと一緒にダンスを踊ろうと、県総合社会教育センター主催の「米ケル・イカリん・米ケルJr.とダンシング♪ 中泊クイズもあるよ〜」が、7月25日(土)に町総合文化センターパルナスで行われ、子どもから大人まで約150人が参加しました。

講師の高杉牧子さんから「恋するフォーチュンクッキー」の振り付けを教わり、みんなで練習をしました。その後、米ケルたちと一緒にダンシング♪。みんなで楽しく踊りました。参加者は「気持ちのいい汗をかいた。今度米ケルたちが踊るときと一緒に踊りたい」と話していました。ダンスが終わった後は、中泊クイズを行いました。町に関することや米ケルたちについて○×形式で出題され、参加者は知っていそうで知らないクイズに頭を悩ませながら楽しんでいました。



優勝目指して特訓

米ケルが伊勢ヶ濱部屋の合宿に出稽古

町イメージキャラクターの米ケルが8月19日(水)、五所川原商業高校の相撲場で夏合宿を行っている伊勢ヶ濱部屋へ出稽古に行きました。この日は、序二段の一富士さんから四股、すり足、テッポウ、ぶつかり稽古を教わり、土まみれになりながら激しい稽古をこなしました。米ケルは、9月21日(月)につがる市で行われる「全国ゆるキャラすもう大会」へ出場し、優勝を目指してがんばるそうです。

奥津軽の歴史を知ろう

駅ナカ空間でおやこ教室

観光カリスマ角田塾の角田周さんが、地元の親子を対象に奥津軽の歴史を知ってもらおうと8月19日(水)、津軽中里駅の駅ナカにぎわい空間で「小学生のための奥津軽おやこ教室」を行いました。約30人の親子が参加し、「少年太宰と津軽鉄道」をテーマに、住民ティーチャーの荒関勝康さんから少年太宰について、イラストをみながら説明を受けました。その後、津軽半島観光アテンダントの小枝美知子さんから津軽鉄道について教えてもらいました。参加した子どもたちは「大人の太宰治しか知らなかった。子ども時代もすごかったと聞いて自分もがんばろうと思った」と話していました。



常日頃からの防災態勢を強化

下前地区自主防災会が宝くじ助成金で防災備蓄品購入

のたび下前地区自主防災会は、地域防災力の向上を図るため、防災備蓄品を購入しました。この地区は4年前に発生した東日本大震災以降、防災・減災に対する意識が高まり、「自分たちの地域は自分たちで守る」と心一つに団結し、平成26年4月に小泊地域で初の自主防災組織が誕生

しました。今回、住民の行うコミュニティ活動を推進し、健全な発展を支援する宝くじ助成金を活用して「ガソリン発電機、携行缶、投光機、コードリール、ストーブ、移動式のかまど」が整備されました。この助成金は、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入が財源になっています。今後、永坂幸男会長を中心に防災訓練などの各種活動が展開されることとなります。

炭の良さを広める

炭窯づくり講習会

炭について知ってもらおうと、8月4日(火)に合同会社ツリーワークの炭小屋で炭窯づくり講習会が行われ、約50人が参加しました。

講習会では、弘前大学農学生命科学部の松本助教から「炭入り堆肥」について、東京大学農学部の谷田貝名誉教授から「炭について」の講演が行われ、参加者らは意外な炭の効果に驚いていました。最後は、製炭指導員の千田篤さんが炭窯づくりの実技を行いました。炭窯の土台の中に入り窯の大きさを体験していました。



米ケルたちとジャンケンポン!

こども園こどもりで夏まつり

園児・保護者・家族・園職員の交流を目的に8月1日(土)こども園こどもりで夏まつりが開催されました。

夏まつりは園児や保護者だけでなく、今年卒業した小学校1年生も招待され、会場はたくさんのお子どもたちでいっぱいになりました。始めに、園児によるダンスが披露され会場は盛り上がりました。その後、園庭にでると町イメージキャラクターの米ケルたちが出迎え、子どもたちとジャンケンをして遊びました。子どもたちは、アイスや焼きそばを食べ、最後はみんなで小泊音頭を踊りました。

安全運転をお願いします!

グループホームさくら利用者が呼びかけ

グループホームさくら利用者が、7月27日(月)奈良建材店前交差点で、通行するドライバーたちに交通安全を呼びかけました。

この日は手づくりのマスコットほか、交通安全のパンフレットを配布しました。ドライバーたちは、「ご苦労様、ありがとうございます。安全運転します」などと利用者に声をかけていました。



迫力のレース

東北・北海道馬力大会

東北・北海道馬力大会が8月2日(日)、尾別の津軽開発協同組合ペレット工場の敷地で行われ、馬の愛好家約500人がレースを楽しみました。

この大会には、県内や北海道から約70頭が参加。年齢や馬体の大きさなどの各部門にわかれ、坂がある約200mのコースを駆けました。馬の引く重りは最大260貫(約千キロ)で、威勢のいい掛け声とむちで気合を入れられた馬が、レース終盤の坂を一気に駆け上がると会場には歓声と拍手が起きました。



図書館で職業体験

明の星短期大学からインターンシップ

明の星短期大学1年生の木村拓哉さん(上高根)が、8月10日からの3日間、中泊町図書館へ職場体験にきました。カウンター業務をはじめ、資料を提供できる形にするまでの装備業務や本の修理など、図書館の日常的な業務を体験しました。

木村さんは「思っていたよりも図書館の業務は種類が多く、丁寧に本を扱わなければいけないので大変だった。この体験をこれからの学生生活や進路に生かしていきたい。」と笑顔で話していました。



かわいい金魚ができました

中央公民館で金魚ねぶた絵付け体験

7月26日(日)に中央公民館では金魚ねぶた絵付け体験を行いました。講師は町内の鍋田元氏にお願いし、受講者は小学生3人と中学生1人、大人1人となりました。

金魚ネプタの骨組みに張り付けた和紙にかわいらしい顔を描き、そして赤青黄色などの色を塗り、世界で一つの金魚ねぶたを完成させました。この金魚ねぶたは静和園まつりでテントに飾られ、祭りの一役を担いました。



目指せ新記録!

第1回なかどまりっ子水泳記録会

8月23日(日)に中泊町B&G海洋センターで、第1回なかどまりっ子水泳記録会を開催されました。

日頃、B&G海洋センターを利用している町内児童のみなさんが自分の実力を試すため、25mビート板キック種目や25m自由形種目に挑戦し、最後まであきらめずにゴールを目指して頑張りました。

最後には出場者でリレーメンバーをつくり、タイムを競って楽しみました。



巨大なスイカができました

長利さんの畑で収穫

長利和夫さんが、津軽中里駅の近くの畑で巨大なスイカを収穫しました。重さは30kgを超え、一人では持ち運べない大きさでした。

長利さんは「7、8年スイカを作ってきたが、こんなに大きいものは初めてだ。切るのがもったいない」と笑顔で話していました。